

***** ◇◆ 目次 ◆◇ *****

- 1 宮崎県における鳥インフルエンザの発生について
- 2 ご注意！アダルトサイトのワンクリック請求
- 2 アイネスからのお知らせ

■ 宮崎県における鳥インフルエンザの発生について

宮崎県では、養鶏場で鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されたことから、発生農場での殺処分、周辺地域の鶏等の移動制限や消毒などの防疫対策が行われています。

これを受けて大分県でも、総合対策本部を立ち上げ、消毒ポイントを設置して関係車両等の消毒を実施するなど防疫体制を徹底しています。

鳥インフルエンザウイルスについては、これまで、鶏肉や鶏卵を食べることによってヒトに感染したという事例の報告はありません。

また、鳥インフルエンザウイルスがヒトに感染するのは、現時点では、感染した鳥やヒトと濃厚に接触した場合に限られています。

本県における対応状況、総合相談窓口や死亡した野鳥を発見した際の連絡先等については、[〈大分県HP〉 高病原性鳥インフルエンザに関する情報](#)をご覧ください。

… <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15450/toriinf.html>

鳥インフルエンザについては… [〈厚生労働省HP〉 鳥インフルエンザに関するQ&A](#)

… <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou02/qa.html>

■ ご注意！冬の事故防止

12月に入って急に寒くなりました。寒くなると注意が必要なのが、暖房機器の使用に伴う火傷、火災、一酸化炭素中毒等の事故や、[メルマガNo121](#)でご紹介した着衣着火事故、入浴時の事故などです。そこで、本格的に寒い季節を迎えるに当たって、事故に遭わないための注意点についてまとめました。

〈メルマガ「アイネス消費生活情報」No121〉

http://www.pref.oita.jp/uploaded/life/235347_381898_misc.pdf

1 高齢者の入浴事故防止

これからの季節に高齢者が特に注意が必要なのが、入浴時の急激な温度変化により、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす入浴事故です。

〈山形県の取組〉山形県庄内保健所では、地域の入浴事故死亡者が交通事故死の4.7倍で、その約9割が高齢者という調査結果を受けて、入浴事故予防に向けた取組を継続して実施しています。

〈快適おふろの入浴術〉…山形県庄内保健所HP

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/shonai/337021/4126navi/leaflet2013.html>

〈大分県でも〉大分でも冬場の入浴では、暖かい部屋から寒い脱衣場・浴室へ、冷えた体で熱いお湯につかった後は再び寒い脱衣場へと、急な温度変化にさらされます。脱衣所や浴室を暖める、家族が声かけをするなど、ご注意ください。

〈大分県HP〉ヒートショックを予防しましょう！

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12200/heat-shock.html>

2 暖房器具を使用する前に

寒くなってあわてて暖房器具を使い始めた人も多いと思いますが、使い始める前に、既に使い始めた場合でも今一度、次の点をご確認ください。

(1) 長期間使用した機器の点検

〈長期使用製品安全点検制度〉

どのような製品も古くなると部品の劣化等に伴い事故のおそれがあります。

なかでも、密閉燃焼式石油温風暖房機、浴室用電気乾燥機、石油給湯機や石油ふろがま等は消費者自身による点検が難しく、**経年劣化によって火災等につながる危険性**があることから、消費者に定期的な安全点検（有償）を法律で義務付けています。

対象製品を長く安全に使用するため、**購入時にユーザー登録**を行うとともに、メーカー等から**点検時期のお知らせ**が来たら点検を受けましょう。

〈その他の機器の点検〉

その他の暖房器具も、製品に貼られたシールや保証書などで、使い始めから何年になるかを確認しましょう。

最近の暖房器具には、マイコン等の電子部品が搭載されているものが多く、構造も複雑なため、従来の製品に比べて経年劣化の影響を受けやすい傾向があると言われています。

製造から8～10年以上の長期間使用した製品は、表面上は痛んでいないように見えても、内部は経年劣化を起こしている可能性がありますので、適切な時期に点検や買い換えが必要です。

(2) 暖房器具の状態チェック

次の点についても確認し、おかしいと思ったら使用を中止して、点検・修理をすることが大切です。

- 暖房器具の空気取入口のフィルター：フィルターがほこりで詰まっていないかチェック
- 石油ストーブの芯にすす等が多く付着：古い歯ブラシで丁寧にこすり落とし
- 次の症状がある場合は、使用を中止して、販売店等の点検・修理を依頼
 - ・なかなか点火しない、度々立ち消えする、炎が大きい
 - ・臭いがする、本体が異常に熱くなる、度々エラーが表示される
 - ・点火時や運転時の音や振動が大きい
 - ・コードや差し込みプラグが熱い、変色している、ガスコードが劣化している
- 昨シーズンから持ち越した灯油を使用しない**…灯油が変質し、異常燃焼や故障の原因に

3 ストーブやファンヒーター使用時の事故防止

暖房器具としてよく使われるストーブやファンヒーターは、事故も多く発生しています。

(1) 給油時の事故防止

〈事例1〉ストーブを消さずに給油したため、こぼれた灯油にストーブの火が引火し火災に

〈事例2〉給油時に間違えてガソリンを入れて点火し、炎が上がって火災に

〈事例3〉石油ストーブに**変質した灯油を使用したところ、火が消えなくなった**

…芯先に多量のタールが付着して、芯が消火位置に戻らなくなったことが原因

- 給油する際は、完全に火が消えたことを確認
- 灯油をこぼした場合には、十分にふき取る。
- 変質した灯油や、汚れた灯油、水の混じった灯油は使用しない。**
 - …廃棄する際には、近くのガソリンスタンドや灯油販売店等に相談する。
 - …http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20131121_1.html

(2) 使用時の火災防止

〈事例1〉室内に干していた洗濯物が、石油（ガス）ストーブの上に落下して火災に

〈事例2〉就寝中に、ふとんが電気（石油）ストーブに触れて火災に

〈事例3〉ガスストーブ使用中に、ガスホース接触部から出火

- 近くに、紙、衣類など燃えやすいものを置かない。カーテン等から離して使用する。
- ストーブの周囲や上方に、洗濯物を干さない。
- 就寝中は、ストーブのスイッチを切る。
 - …寝返り時に、布団や毛布がストーブに触れ、ヒーターの熱で火が付いて火災に
- 電源コードやガス管の劣化、ほこりに注意
- 詳しくは… <http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/0390.pdf>

(3) 使用時の一酸化中毒防止

ストーブやファンヒーターは、室内の空気中の酸素を使用して燃焼させるため、換気をしないまま使い続けると、**一酸化炭素中毒のリスクが高くなります。**

〈事例1〉ストーブやガス湯沸かし器を換気不足で使用し、一酸化炭素中毒に

- 一酸化炭素は無色・無臭なため、気付かないうちに中毒になってしまう危険があります。

- 石油やガスストーブを使うときは、1時間に1～2回換気を行う。
- 不完全燃焼防止のため、定期的にフィルター等を掃除する。

(4) スプレー缶の爆発事故

スプレー缶に充填されているのはLPガス等の可燃性ガスであることから、暖房器具やコンロの近くで使用することで、事故が起きています。

〈事例1〉石油ファンヒーター使用中に、近くに置いていたスプレー缶が爆発

〈事例2〉ガスコンロを使用中、虫を見つけたので殺虫剤を噴射したところ、ガスコンロの火が引火し、やけどを負った。

- スプレー缶を暖房器具の近くに置くと、**缶が過熱され、内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出した可燃性ガスに引火します。**
- スプレー缶を暖房器具の近くに置かない、使用しないことが大切です。

4 こたつやゆたんぼの事故防止

電気こたつやゆたんぼでも、事故が起きています。

〈事例1〉電気こたつの中に掛け布団を押し込んで使用したため、ヒーターユニットの保護カバーに布団が接触して火災発生

〈事例2〉ゆたんぼを使用していたら、足に低温やけど

〈事例2〉電子レンジ加熱式ゆたんぼを加熱し過ぎたため、取り出した際に破裂してやけど

- 電気こたつの中に、こたつ布団や座布団などを押し込まない。
… <http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/O400.pdf>
- ゆたんぼは、就寝前に布団の中に入れ、温まったら布団から取り出す。
…ゆたんぼを長時間皮膚に接触させると、低温やけどを起こすことがあります。
- 電子レンジ加熱式ゆたんぼは、決められた加熱方法(加熱のワット数・時間)を守る。
… <http://www.nite.go.jp/jiko/poster/data/O430.pdf>

5 電子レンジ等で加熱時の突沸に注意

〈突沸とは〉飲み物などを加熱した場合、急激に沸騰が起こり、中身が飛び散る現象です。液体を加熱し温度が沸点を超えても、食品や加熱状態などによってはブクブクと泡が出ない状態になる場合があります。この状態の液体に、何らかの刺激(振動や調味料を入れるなど)が加わることにより、突然、爆発するように沸騰し中身が飛び出すものです。

〈事例1〉電子レンジで、コーヒーや豆乳を温めすぎて突沸した。

〈事例2〉ガスコンロやIHクッキングヒーターで、みそ汁を温め直したら、突沸した。

- 電子レンジで飲み物を温める場合は、**温めすぎないように**しましょう。
- 温めすぎてしまったら、**すぐに取り出さず、扉を開けないで1～2分冷まして**しょう。
- ガスコンロやIHクッキングヒーターで液体を温め直すときは、**火力を弱めにし、かき混ぜながら**行いましょう。

6 暖房器具等のリコール情報

身の回りの様々な商品のうち、欠陥や不具合等のある製品を対象に、事業者が行う商品の点検、修理、交換や注意喚起等の情報を、リコール情報として消費者庁が一元的に集約し公表しています。

〈消費者庁のリコール情報サイト〉… <http://www.recall.go.jp/index.php>

- リコール製品をそのまま使い続けると、火災等の重大な事故を引き起こすおそれがあり、大変危険です。
- リコール情報は日々更新されています。ご自宅等の保有機器をご確認いただき、該当する機器がある場合は、販売店や上記サイトに記載された連絡先にお問い合わせ下さい。
- 同サイトで、エアコンなど商品名を入力して検索すると、当該商品ごとのリコール情報の一覧が表示されます。

■ アイネス作製のネットトラブル未然防止DVDをご活用ください！

ネットトラブル未然防止学習教材（DVD）

「ちょっと待って！ そのクリック大丈夫？ 知って防ごう！ ネットトラブル」 は、大分県のホームページからご覧になれます。

http://www.mejiron.tv/channel/2/video_detail.php?vc=136574234246

大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）では、[DVDの貸出し](#)を行っていますのでご利用ください。 【問合せ・申込み先：097-534-2038】

☆ [メルマガバックナンバー](#)（これまでの配信内容は、こちらからご覧ください）

<http://cms.ncsv.pref.oita.jp/site/seihinanzen/mailmaga.html>

☆ [Facebook](#)で暮らしに役立つ最新情報を発信しています！

★ Facebookに登録していなくても、見ることができます。

<https://www.facebook.com/oita.iness>

【消費生活に関するご相談は・・・】

☆ [市町村の消費生活相談窓口](#)

県下すべての市町村で、消費生活センターや相談窓口が設置されています。

次の消費者ホットラインの利用により、全国どこでも、お近くの市町村や県の相談窓口自動的につながり、市内料金で相談できます。お気軽にご相談下さい。

《 [消費者ホットライン：0570-064-370](#) 》

☆ **大分県の消費生活相談窓口** ※メールやファックスでは受付していません。

◇ **消費生活等相談**（契約、販売方法、多重債務、消費生活に関する相談）

- ・ 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～17：30
- ・ 相談電話： **097-534-0999**

◇ **消費生活特別相談**

- ・ 受付時間：日曜日（第3日曜をのぞく）13：00～16：00
- ・ 相談電話： **097-534-0999**

◇ **食品表示110番**（不審な食品表示に関する情報、食品表示に関する質問など）

- ・ 受付時間：月～金曜日（祝、休日をのぞく）9：00～16：30
- ・ 相談電話： **097-536-5000**

☆ **メルマガ登録者を募集しています！**

配信ご希望の方は、お名前、市町村名、「PC版または携帯版」の配信希望と書いて、下記メールアドレスあて送信してお申し込みください。

○申込先 → iness.csm@pref.oita.jp （メルマガ専用アドレス）

大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）

〒870-0037 大分県大分市東春日町1番1号（NS大分ビル内）

TEL：097(534)4034 FAX：097(534)0684

ホームページ：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13040/>

E-mail：a13040@pref.oita.lg.jp
